



市民活動・ボランティア活動情報誌

2019年6月13日

No.192

福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

どの子どもどの人もその人らしく暮らせる地域に

まちぐるみで子育てに 寄り添う仲間たち



荏田南地区「ぼこぺん」で活動する皆さん
(葛が谷地域ケアプラザ(都筑区)・4月26日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

★ 福祉の仕事：スクールソーシャルワーカー

P4

★ ボラセン情報：企業の地域貢献活動

P5

★ 市社協情報：第4期 横浜市地域福祉保健計画

P6

ここから最新号と
バックナンバーを
ご覧になれます

福祉よこはま 検索



まちぐるみで子育てに 寄り添う仲間たち

どの子どもどの人も
その人らしく
暮らせる地域に

子育てには成長の喜びとともに、不安や心配もあります。その思いを打ち明ける仲間や場がなく、悩みを抱えたまま孤立してしまう人もいます。

都筑区荇田南地区で「どの子どもどの人も、その人らしく暮らせる地域」を目指し、子育てをまちぐるみで見守ろうと始まった『おしゃべりカフェ ぽこぺん』。発達障がいについて知りたい、子育てで抱えている不安を話したい、そんな思いを持った方のための居場所です。

参加した方が安心して胸の内を明かせる仲間ができ、不安に寄り添い見守る人がいることを感じとれる場となっています。

きっかけは

さまざまな活動から聞こえた声…

荇田南地区社会福祉協議会（荇田南地区社協）では平成29年度に「子どもの見守り」を活動のテーマに掲げ、毎月行われる「福祉を語る会」で話し合いを重ねました。話し合いでは、地域の支援活動の場やプレイパークなどで聞かれる子育ての不安の中でも、発達障がいのあるお子さんの保護者の悩みが多くあると声があがりました。

そこで地区社協活動を通じてつながりのあった北部地域療育センターの齊藤さんに、発達障がいについてお話を聞いたところ「何より地域の中に理解者を増やす必要がある」と知りました。それならばと地区社協主催事業である住民・関係者向けの地域福祉フォーラムを発達障がいをテーマに企画・開催することになりました。

悩みや困りごとを自由に話せる場が欲しい

荇田南地域福祉フォーラム

「子どもの見守り～地域ぐるみの子育て支援

『発達障がい』ってなあに？」

地域福祉フォーラムには予想を超える多くの参加がありました。参加者による意見交換では、障がいのあるお子さんの保護者から「人のいるところに連れていくと迷惑がられるので、誰もいない公園で親と子だけで遊んでいた」「乳幼児の集まる場はあるけれど、小学生になるとそういう場が少なくなる」など、悩みや困りごとの声が多くあがりました。

内容

◆ 1部【講演会】

「発達障がいてなあに？」
〈講師〉北部地域療育センター
ソーシャルワーカー 齊藤さん

◆ 2部【地域の活動状況】

- 赤ちゃん会
- プレイパーク
- 発達障がい児の親として



多くの住民が参加しました。



▲フォーラムでは参加者と意見交換を行いました

フォーラムだけでは
意味がない！

数日後に自治会館でお茶会開催！

お茶会では、子育ての悩みや困りごとを自由に話し合え、仲間作りができる場が定期的に欲しいとの希望がありました。

『ぽこぺん』誕生！

必要とされているならとにかくやってみよう！と主任児童委員の西田さん、民生委員・児童委員の樋口さんと舟木さんが中心となって話し合いを重ね、北部地域療育センターに併設する葛が谷地域ケアプラザを会場に、平成30年4月『ぽこぺん』がスタートしました。

発達障がいってなあに？
おしゃべりカフェ
ぽこぺん

集まった人たちが、話すこと、聞くことで

気持ちが楽になる

気づき生まれる

子どもたちへの理解が深まる

北部地域療育センターなどの専門の方や民生委員さんがいるおしゃべりの場です。

日時 毎月1回金曜 10時～12時

場所 葛が谷地域ケアプラザ(北部地域療育センター1階)

※ 申込不要・名前を聞くこともありません。



参加者が気持ちを打ち明け、地域の方や専門職が見守ります

最初は自由に話をしていましたが、今は「夏休みどうする？」などテーマを決めこちらで進行しています。さらに、テーマだけではなく参加した方がその日に話したいことを話せる工夫もしています。先日は参加したお母さんが主催となり他の場所で『出張ぽこぺん』を行いました。他の地域でも同じような活動が広がっていけばいいと思います。

西田さん

障がいの診断があった時の“認めたくない・認めなくて”という複雑な気持ち、周囲へ知らせる葛藤、子どもの行動に振り回される日々…。他の人の話も聞くことで辛いのは自分だけではないと感じ、安心して話せる場や仲間が、学齢期にこそ必要だと思います。

樋口さん



▲左から民生委員・児童委員の樋口さん、主任児童委員の西田さん、民生委員・児童委員の舟木さん

身近に暮らす私たちが正しい知識を身に付け一人ひとりの個性を理解できれば、みんなが暮らしやすい地域になると思います。今後はこの活動を広く伝えていきたいです。

舟木さん

参加者の声

仲間と出会う、安心感を得られる貴重な居場所

『ぽこぺん』にたどりつくまでは、さまざまな場所に出向き勉強会などに参加して、必死に情報を集めていました。しかし、発達障がいを取りあげるセミナーは数も少なく、また、あっても講師の話を一方的に聞いているという印象で、保護者同士のつながりがないままひとりで悩みを抱えていました。

『ぽこぺん』には、どんな悩みも何を話しても受け入れてもらえるという絶対的な安心感があります。また、同じ悩みを抱えた仲間と知り合え、その場にいただけで多くの情報が得られます。

私にとって『ぽこぺん』に参加することは「帰ってきた」と思える貴重な時間であり居場所です。

子育てに寄り添い、子どもを見守る仲間たち



集まれる場を作り、勉強会などで住民に理解者を増やし、『ぽこぺん』のような活動を支えながら、地域みんなで子どもを見守るまちにしていくことこそが、地区社協の役目だと思っています。

荇田南地区社協会長 藤巻さん

集団生活をする中で息苦しさや不安などを感じているお子さんや保護者の方が、地域の居場所で本音を分かち合えることは素晴らしいことだと思います。地域の中で子どもたちがスクスクと成長してほしいと願います。

荇田南小学校 狩谷校長先生



身近な大人の理解があることで、子どもたちはずっと生活しやすくなります。保護者の方も同じ悩みを持つ人と出会うことで子どもの環境が変わるきっかけにもなります。

生活の場である地域で『ぽこぺん』を始めた皆さんの気づきと発信がとても心強いです。北部地域療育センター 齊藤さん



ケアプラザにも子育ての悩みや困りごとを抱えた方がご相談にいらっしゃいます。その悩みや困りごとを、ケアプラザだけでなく地域のみなさんや専門機関と一緒に考え、子どもの成長を見守る活動が多く地域に広がるよう、応援していきたいと思っています。

葛が谷地域ケアプラザ 明間さん

※ この特集記事に限り「障がい」と表記します。



「スクールソーシャルワーカー

横浜市教育委員会事務局 東部学校教育事務所で
統括スクールソーシャルワーカー(SSW)として働く

おに つか みゆき
鬼塚 幸さん に聞きました

子ども、保護者、先生は何に困っているのか。
課題を整理し、信頼関係を築きながら、
子どもが安心して学校生活がおくれるような
環境づくりをすすめています。

この仕事を選んだきっかけ

- ▶ 前職である地域包括支援センター相談員の仕事をしていた中で、親が80代子は50代といういわゆる8050問題など、高齢の親を支える家族の問題に直面してきました。ひきこもり等の問題が深刻化する前の学齢期のころに適切な支援を受けられたらまた違う状況になるのではと、感じるようになりました。自らも親となり、子育てをするようになって、その思いはさらに強くなり、横浜市で募集していたSSWの採用試験を受けました。

日々の仕事

- ▶ 学校から要請を受けた相談について、他のSSWとともに支援の検討や助言を行います。また、新任SSWの実地研修の一環として学校訪問に同行し、先生や保護者とのケース会議を行うことも多くあります。そのほか、SSWが直接相談を受ける横浜市「学校生活あんしんダイヤル」での子どもや保護者からの相談について、面談をしながら一緒に解決方法を考えています。

心がけていること

- ▶ 子ども、保護者、学校、それぞれのニーズをくみとり課題整理をすることで、問題に対して誰が何をすべきかを考え、自己決定ができるよう導いていきます。
また、保護者と学校の信頼関係に基づいて、子どもが学校の中で安心した生活を送り続けられるような環境を作っていくことを常に意識しています。

喜び・やりがい

- ▶ ケース会議を通して、特に先生が子どもや保護者の立場や問題の背景を理解することで、問題に対する考え方が変化し関係が安定していくのを実感できることです。また最近では、子ども自身もケース会議に参加するよう働きかけます。抱えている問題に向き合うことで、自ら解決する力をつけていく様子を実感できるのはこの仕事の喜びです。

この仕事を目指す人へ

- ▶ 学校は、どの子にも平等に学習の機会が保障されている貴重な場所です。SSWは子どもが安心して学校生活を送れるよう、先生たちとともに環境を作り上げていく、他の分野ではできない価値ある仕事だと思っています。また、気になる子どもを見守る地域の取り組みと学校がつながることができるよう、主任児童委員や社会福祉協議会との連携など活動の幅を広げています。

スクールソーシャルワーカー(SSW)とは

学校教育法施行規則で「学校における児童の福祉に関する支援に従事する」と示されている社会福祉の専門職です。福祉的な知識、技術を活用し、いじめ、不登校、暴力行為、虐待などの課題を抱えた児童生徒と環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、解決に向けた支援を行います。

学校生活あんしんダイヤル

☎ 045-663-1370

開設日時：火・水・木・金曜日 9時～17時

※ 4/1～7、8/5～15、12/29～1/4を除く

対 象：横浜市立小学校、中学校、義務教育学校、
特別支援学校に通う児童生徒と保護者

いじめや不登校で悩んでいるけれど、学校に相談しにくい…そんな時にお電話ください。

スクールソーシャルワーカーが、どうしたらよいかを一緒に考えます。

★区役所「こども家庭支援相談」もあります。
各区にお問い合わせください。



▲より良い解決のため、ケース会議を行い経験の浅いSSWの支援もしています

接することの多い人たち



◆この記事に関するお問合せは ……………

横浜市教育委員会 人権教育・児童生徒課 ☎ 671-3699

横浜市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎ 201-8616

横浜市内の
福祉人材に
関する
求人情報 ⇨



ウェルじゃん
求人情報



横浜市
介護人材求人
情報システム

企業にできること = 多くの人に喜ばれること

企業の 地域貢献活動

障がい児・者の将来を考える会 泉の会
×
株式会社 野毛印刷社

横浜サンプラザプロジェクト(※1)で出会った企業と障害児者団体が、イベント以外にも継続的なつながりを持ちたいと話し合いを重ね、職場体験会が実現しました。

横浜サンプラザプロジェクトでの出会い

泉の会に所属する障害児地域訓練会(※2)に、株式会社野毛印刷社(以下、野毛印刷社)の社員が「訪問サンプラザ」として子どもたちと交流したことが出会いのきっかけとなりました。

泉の会 障害のある子どもたちに職業体験の機会がほしい

野毛印刷社 社員に、相手の立場に立って伝えることを経験させたい

まずは職場体験会!

泉の会の参加者(付添い家族を含む10名)が、野毛印刷社を訪れ、体験会に参加する社員の皆さんが迎えました。

説明&見学

ショールームで自己紹介のあと、会社の概要や展示されている多数の印刷物の説明に、質問や驚きの声があがりました。

社内見学では、印刷機や一冊に綴る製本機、規定サイズに仕上げる断裁機に見入る方や、気づいたことを案内役の社員に質問する方もいました。



▲真剣な様子で印刷機の説明に聞き入ります



▲会社や展示されている印刷物の説明に聞き入る参加者



▲きれいに断裁された印刷物を確認中

印刷物の組立体験

開くと動物が飛び出す暑中見舞いカードを、社員に教えてもらいながら組み立てました。「のり付けが難しい〜!」と言いつつも、皆さん真剣です。



▲パーツが細かく、のりで貼るのが難しい作業です

ふりかえり

体験後の振り返りでは、社員の方から参加者へ良かったところなどを伝えていただきました▶



参加者が作成したカード▶

◀振り返りの話を聞く表情も真剣です



泉の会

参加者より

- 会社の人が見守ってくれ、自分のペースで作業ができたことが嬉しかった。
- 会社の皆さん、ありがとうございます。自分の話を聞いてくれてやる気が出ました。

泉の会代表 尾崎さん

障害児者の可能性や課題を企業側が具体的に感じていただける機会にもなり、知識やイメージから一歩踏み込んで、互いに知りあえたと思います。

家族アンケートより

見学や説明を通じて、会社で働くためのルールやマナーを学んだのでは。組立てなど、こんなこともできるんだ、と思いながら見ていました。社員の方が作業を褒めてくださり、励ましの言葉をかけてもらったことで自己肯定感が高まったようです。こういう機会はずいぶん今後もお願いしたいです。

野毛印刷社

社員の皆さん

- ペアを組んだ男性と、カード組立がうまく出来てほっとしています。
- 初めのうちはどのように関わればいいのかかわらず私が緊張していましたが、一緒に活動を通じて元気をいただきました。
- ボランティア活動に積極的な会社なので、自分でできるボランティアは何か、考えるいい機会になりました。

CSR推進担当 阿部さん

配慮が必要な方の就労につながるヒントを得られれば、と引き受けました。世の中にはいろいろな職種があることを、会社見学を通じて少しでも知っていただけたら嬉しいです。

※1 横浜サンプラザプロジェクトについては二次元コードからご覧ください。

※2 障害児地域訓練会…地域において障害児を対象に生活指導や機能回復訓練などの療育活動を実施する団体を障害児の保護者等が自主的に組織し運営しています。

横浜サンプラザプロジェクト



横浜市ボランティアセンターより

今回の体験会は、企業と地域の団体の思いがマッチングする嬉しい機会となりました。横浜市ボランティアセンターでは、企業の地域貢献活動についてのご相談もお受けしています。

横浜市ボランティアセンター

☎ 201-8620

市ボラセンHPはこちら



令和元年度～令和5年度

第4期 横浜市地域福祉保健計画が完成しました

横浜市と横浜市社会福祉協議会による「第4期横浜市地域福祉保健計画～よこはま笑顔プラン～(令和元年度～令和5年度)」が完成しました。各区役所・各区社協等で冊子の閲覧・概要版の配布を行っているほか、右記ホームページでも閲覧可能です。ぜひご覧ください。

● 横浜市社会福祉協議会ホームページ
http://www.yokohamashakyo.jp/sisyakyo/katsudo-keikaku.html



▲第4期市計画冊子

【問合せ】横浜市社会福祉協議会 企画部 企画課 ☎ 201-2090

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。平成31年1月29日～3月31日 新規受付・継続受付分

団体会員

- 税理士法人 仲田パートナーズ会計
- 株式会社 よこはま住生活
- 特別養護老人ホーム 今宿ホーム
- NPO法人 そうの歌
- 丸五運輸 株式会社
- 関東自動車共済協同組合
- ユークス総合建築 株式会社
- 株式会社 アースアンドウォーター

個人会員

- 齋藤 敏雄
- 星崎 清美
- 高橋 昌三郎
- 我妻 八重子
- 高橋 賢司
- 杉山 順三郎
- 芝 良弘
- 中丸 良久
- 内海 利行 順不同・敬称略

【問合せ】横浜市社会福祉協議会 総務部 総務課 ☎ 201-2096
詳しくはホームページをご覧ください▶



みんなのきもち あいがとう

みなさまから寄せられたご寄付は、市内の市民活動団体、障害児・者団体の支援のため、有効に活用させていただきます。

＼ご寄付いただきました(善意銀行)／ アネスト岩田 株式会社 エアエナジー事業部 様

アネスト岩田株式会社様より、自社製品である「コンプレッサー(空気入れ)」を市内の配分を希望したすべての特別養護老人ホーム(69か所)へご寄付いただきました。



◀感謝状贈呈式の様子(平成30年11月16日)
アネスト岩田 株式会社 塚本 様(写真右)
特別養護老人ホーム 天王森の郷 鈴木 施設長(写真左)

◆ 寄付に至るまでの経緯について教えてください

部署をまたいで招集された、女性のプロジェクトチームの中で、当事業が直接「豊かな社会」のためにできることはないかと考えました。本社がある港北区には、多くの福祉施設があることに気づき、ヒアリングを重ねた結果、施設では数多くの車いすのメンテナンスが重労働であることを知り、当社の事業がお役に立てるのではないかと考えました。



▲プロジェクトリーダーの太田さん

空気ので 豊かな社会に貢献する

当社は2026年に100周年を迎えるにあたり、地域や社会全体への貢献活動の重要性を感じております。事業会社として社会を豊かにするための製品を造ることはもちろんですが、地域のみなさまと一緒に、私たちが出来ることを少しずつ積み重ねていけると考えております。

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています。☎ 201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略 平成31年1月1日～3月31日受付分

善意銀行 金銭寄付者

- ナザレ工房 シャロンの会
- 株式会社 横浜ステーションビル シアプラット東神奈川
- ブックオフコーポレーション 株式会社 (4件)
- 明治大学校友会 横浜地域支部
- 土志田建設 株式会社
- 株式会社ベルク フォルテ森永橋店 お客様一同
- MHPSエンジニアリング 株式会社 横浜統括部
- ポニカロード
- 吟楽会
- 株式会社 ぐらしの友
- 一般財団法人 よこしんふれあい財団 理事長 大前茂
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同

善意銀行 物品寄付者

- 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 株式会社 NB建設
- 株式会社 インフィニティ
- 株式会社 CTC物流
- 横浜マリノス 株式会社
- アネスト岩田 株式会社 エアエナジー事業部
- 横浜信用金庫
- 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 理事長 森信博(2件)

- 相鉄グループCSR推進事務局
- 相模鉄道 株式会社
- 相鉄バス 株式会社
- 相鉄ステーションリテール 株式会社
- 相鉄ローゼン 株式会社
- 株式会社 葉山ボンジュール
- 相栄フーズ 株式会社
- 相鉄不動産 株式会社
- 相鉄不動産販売 株式会社
- 株式会社 相鉄リビングサポート
- 株式会社 相鉄アーバンクリエイツ
- 株式会社 相鉄ビルマネジメント
- 相鉄ホテル 株式会社
- 株式会社 相鉄ホテルマネジメント
- 相鉄企業 株式会社
- 横浜熱供給 株式会社
- 株式会社 相鉄ビューアウォーター
- 相鉄ビジネスサービス 株式会社
- 相鉄ホールディングス 株式会社
- 株式会社 横浜アリーナ
- 株式会社 横浜スタジアム 代表取締役社長 岡村信悟
- 公益社団法人 全日本不動産協会 横浜支部 支部長 佐々木富見夫
- JXアイティソリューション 株式会社
- 匿名(1件)

よこはま あいあい基金寄付者

- 宗教法人 世界平和統一家庭連合 横浜家庭教会 (3件)
- 明治大学校友会 横浜地域支部
- ユニー 株式会社 関東営業部

障害者年記念基金寄付者

- 明治大学校友会 横浜地域支部
- 共に生きるふれあいバザー実行委員会 代表 綱川健一
- ふれあいチャリティーバザー実行委員会
- 株式会社 大宮ゴルフコース 代表取締役 甘糟澄子
- 大津の会

福祉基金寄付者

- 一般社団法人 横浜市港友会
- 匿名(1件)

ヨコハマ寄付本寄付者

- 株式会社 ジェイコムイースト横浜テレビ局
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同
- 社会福祉法人 横浜市西区社会福祉協議会
- JXエンジニアリング 株式会社
- ダイワロイネットホテル新横浜
- 社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会
- 横浜市反町地域ケアプラザ (2件)
- 瀬谷区福祉保健活動拠点 利用者一同
- 横浜市豊田地域ケアプラザ
- 匿名(5件)

みんなの声



前号の感想

「ボランティアを始めよう。」を読みました。写真で「おからさん」の様子やボランティアさんのお話を読んで自分もやってみたいなあーと思いました。ボランティアさんにとってもキラキラ笑顔だからです。
(横須賀市 H・T)

どこの町にもある地区社協。昔は何をしているか遠い存在でしたが、今は地域に根ざして、独自性を盛り込んだ活動がされていて親近感を感じます。
(泉区 フーミン)

ごく身近な場所に人とのふれあい、繋がりを求めて集まれるところがあるんですね。ボランティア、スタッフの皆さんの活動には感謝の気持ちです。
(栄区 T・H)

上谷本地区社協の記事を拝見させて頂きました。会話する事により今まで知らなかった事が見えてきますね。「交流」は大切な事だと思う記事でした。
(瀬谷区 福本 武司さん)

第4回よこはま地域福祉フォーラム「縁で彩る支えあい」すばらしい言葉。誰もが住み慣れた場所で自分らしく生きていくため、自分も今はボランティアしながら健康を保ち、笑顔で隣り近所とつきあい、穏やかな日々を送りたいと思っています。
(旭区 T・S)

基幹相談支援センターの相談員さんについて記事が載っていたので、興味深く読ませて頂きました。私も利用させて頂いていますが何か困ったことをまず相談できる所なので、とても心強いと思っています。(区が違うのですが...)隣のおじさん、おばさんの距離感が相談員の理想像という言葉は暖かいですね。
(旭区 S・T)

初めて読ませていただきました。地区社協が市内に256もあるんですね!住みやすい地域づくりに取り組む組織がそんなにあるとは知りませんでした。自分の近くにある社協を調べてみようと思います。
(港南区 E・U)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております!

「介助犬チャリティーグッズ タオルハンカチ」プレゼント!

介助犬は、病気や事故などで手や足に障害がある方の生活動作を手助けするために特別な訓練を受けた犬です。日本介助犬協会は、「人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして」をモットーに介助犬の育成と啓発活動を行っています。
ホームページ ▶ <https://s-dog.jp>

介助犬が刺しゅうされた
タオルハンカチです



- Q1** 特集：葛が谷地域ケアプラザで行われているおしゃべりカフェの名前は「〇〇〇〇」です。(ひらがな4文字)
- Q2** 福祉の仕事：今回インタビューした鬼塚さんは、「統括〇〇〇」として子どものために学校や福祉現場で活躍しています。(ローマ字3文字)
- Q3** 市社協情報：第〇期横浜市地域福祉保健計画が完成しました。(数字1文字)

応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、右記をご記入のうえお送りください。

抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。

締め切り：
令和元年7月31日(水) 必着

【応募先】

〒231-8482
横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協
「福よこクイズ」係
FAX：045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp

【個人情報取扱】

※応募に関する個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

【項目】

- 1) Q1~3の答え
- 2) 郵便番号・住所
- 3) 氏名(ふりがな)
- 4) 年齢 5) 電話番号
- 6) 福祉よこはまの入手方法
- 7) 福祉よこはまの感想
- 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否(匿名希望の場合はイニシャルを記載)



前号191号の福よこクイズの答えは、Q1:256 Q2:あおぞら Q3:2,000 でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

孤立しがちな子育ての中で、子育ての辛さも楽しさも分かち合う仲間が必要とされています。仲間をつくり気持ちを打ち明けられる場を作ることで、同じ地域で暮らす子どもと保護者を見守り、地域ぐるみで支えようとする取組をご紹介します。今回の取材で子どもがのびのびとその子らしく暮らすためには、地域の理解が何より大事だと感じました。

次号 ▶ No.193 令和元年9月 発行予定

発行：社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL：http://www.yokohamashakyo.jp
デザイン：株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

広告

18th 福祉のことがわかる総合イベント

ヨコハマ ヒューマン&テクノランド

リハビリに療育・介護まで、内容充実!
皆様のご来場をお待ちしています



主催 ● 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 YRS
共催(予定) ● 横浜市 / パシフィコ横浜
お問合せ ● ヨツテク運営事務局 TEL. 045-473-0666(代)
FAX. 045-473-1299 E-mail yotec-info@yokohama-rf.jp

2019年 各日10:00~17:00

7/26(金)-27(土)

パシフィコ横浜 展示ホールD

入場無料



<http://yotec.jp>

ヨツテク 検索



平成31年度

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

保険金額・年間保険料(1名あたり)

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円 (限度額)			
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)		
年間保険料	基本タイプ	350円	510円	
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円	

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者〔個人〕を含みます。)全員のケガを補償
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外 サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。